

教 科	国語	科 目	文学国語	単位数	2
学 年	2	教科書	新編 文学国語（大修館書店）		
学 科	全学科	副教材	新編 文学国語 学習課題ノート（大修館書店） 常用漢字 ダブルクリア四訂版（尚文出版）他		

学習目標	適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 明日をひらく 少なくとも最後まで歩かなかった	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。
	2 小説を楽しむ ナイン	・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。
	3 古典の世界Ⅰ 児の飴食ひたること	・話のおもしろさと教訓をとらえる。
2	4 名作を読む 山月記	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。
	5 古典の世界Ⅱ かぐや姫の昇天	・かぐや姫の心情とその変化を読み取る。
3	6 社会に生きる 神去なあなあ日常	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ・筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。
	7 古典の世界Ⅲ 行く河の流れ	・文体の特徴や比喩の効果について考える。 ・作品に表れている作者の考え方をとらえる。
課題	①予習・復習…教科書、課題ノートを用いて予習・復習する。 ②夏休み課題…読書感想文、夏休み課題ノートに取り組む。 ③冬休み課題…冬休み課題ノートに取り組む。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 明日をひらく 少なくとも最後まで歩かなかった	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。	・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
2 小説を楽しむ ナイン	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容

3 古典の世界Ⅰ 児の飴食ひた ること	・文学的な文章を読むことを ととして、我が国の言語文 化の特質について理解を深 めている。	・「読むこと」において、文章 の種類をふまえて、内容や構 成、展開、描写のしかたなど を的確にとらえている。	・作品に興味をもち、登場 人物の言動や話のおもしろ さを読み取ろうとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
4 名作を読む 山月記	・文学的な文章を読むことを ととして、我が国の言語文 化の特質について理解を深 めている。	・「読むこと」において、他の 作品と比較するなどして、文 体の特徴や効果について考 察している。	・作品に興味をもち、小説 の文体や登場人物の心情に ついて理解を深めようとし ている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
5 古典の世界Ⅱ かぐや姫の昇 天	・文学的な文章を読むことを ととして、我が国の言語文 化の特質について理解を深 めている。	・「読むこと」において、文章 の種類をふまえて、内容や構 成、展開、描写のしかたなど を的確にとらえている。	・作品に興味をもち、登場 人物の心情を読み取ろうと している。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
6 社会に生きる 神去なあなあ 日常	・人間、社会、自然などに対 するものの見方、感じ方、 考え方を豊かにする読書の 意義と効用について理解を 深めている。	・「読むこと」において、語り 手の視点や場面の設定のし かた、表現の特色について評 価することをととして、内容 を解釈している。	・作品に興味をもち、仕事 や自然に対する描写を読み 取ろうとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
7 古典の世界Ⅲ 行く河の流れ	・文学的な文章を読むことを ととして、我が国の言語文 化の特質について理解を深 めている。	・「読むこと」において、文章 の種類をふまえて、内容や構 成、展開、描写のしかたなど を的確にとらえている。	・作品に興味をもち、自分 の身の回りのできごとと比 較しながら作者の考え方を とらえようとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・観察 ・発言内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、５段階で評価します。			

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合	単位数	2
学 年	2	教科書	高等学校改訂版 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来（第一学習社）		
学 科	全学科	副教材	なし		

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	序章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち	・諸資料を活用し、課題の追究、解決に主体的に取り組めます。 ・近代化に伴う生活や社会の変容について理解・考察し、問いを解決し、表現します。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に工業化と世界市場の形成の理解を目指します。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について考察します。
2	第2章 国際秩序の変化 や大衆化と私たち	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会の理解を目指します。 ・第一次世界大戦の展開、アジアの経済成長、ソ連とアメリカの台頭に関する資料から、課題の追究、解決について考察します。 ・第二次世界大戦が世界に与えた影響などについて主題を設定し、日本の動向とその他の地域の解決に取り組めます。
3	第3章 グローバル化と 私たち	・冷戦と様々な課題に関する資料から、情報を読みとったり、まとめたりする能力を身に付けます。 ・地域紛争の背景や影響に着目して主題を設定し、日本と他の国や地域の動向を比較したり関連づけたりするなどして、地域連携、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、理解を深めます。 ・持続可能な社会の実現を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて諸課題の解決に主体的に取り組む姿勢を養います。
課題	①予習・復習…教科書を用いて予習・復習をします。 ②夏休み課題…レポートを作成します。 ③冬休み課題…レポートを作成します。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史の扉	私たちの生活や身近な地域の諸事象をもとに、世界の歴史のつながりを理解している。	複数の資料の関係や移動に着目して、資料から読み取った情報を考察し、表現できる。	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んだ。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
近代化と私たち	18世紀のアジアの経済と社会や列強の帝国主義政策について理解している。	近代化に伴い人々の生活や社会の在り方が変容したことについて考察・表現できる。	諸資料を活用し、課題追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んだ。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と第二次世界大戦がなぜ起こったのか、また、戦争が社会や暮らしにどのような影響をあたえたのかについて理解している。	二度の世界大戦の背景や原因、結果や影響などに着目して、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んだ。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
グローバル化と私たち	冷戦とその終結がもたらした各国への影響、アジア諸地域の経済発展、資源・エネルギーと地球環境問題に着目し、国際政治について理解している。	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の地域の動向を比較し相互に関連づけたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現できている。	諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んだ。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
内容のまとまりごとに学習目標の到達度を基に各観点においてABCの3段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	公民	科 目	公共	単位数	2
学 年	2	教科書	高等学校 改訂版 新公共（第一学習社）		
学 科	全学科	副教材	最新図説 公共（浜島書店）		

学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的に空間における人間としての生き方。 第3章 公共的な空間における基本的原理	自立した主体として他者との協働により、国家・社会の公共的な空間を作る主体としての役割を学びます。 先人の取り組みや知恵を踏まえ、社会に参画する際の選択・判断のための手掛かりとなる概念や理論について学びます。 憲法のもと、法や規範に基づいて各人の利害や意見を調整することで社会の秩序が形成、維持されていることについて考察します。
2	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的に空間における人間としての生き方。 第3章 公共的な空間における基本的原理	民主政治推進のために私たちが果たすべき責任について学びます。 主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているかについて考察します。 公正かつ自由な経済活動を通じて、活発な経済活動と個人の尊重が並び立つことについての理解を深めます。
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な地域、国家・社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神を持った自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して現代の諸課題を探究する活動を行います。
課題	①予習・復習…教科書を用いて予習・復習をします。 ②夏休み課題…レポートを作成します。 ③冬休み課題…レポートを作成します。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
公共の扉	自主的によりよい公共的な空間を作り出していることが自らのキャリア形成に結びつくことを理解している。 選択・判断の手掛かりとして社会全体の幸福の重視や公正な義務について理解している。	倫理的な価値の判断において、自らも他者も、ともに納得できる解決法を見いだすことについて考察し、表現している。 公共的な空間における基本的原理について多面的・多角的に考察し、表現している。	公共的な空間における人間としてのあり方・生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容

自立した主体として よりよい社会の形成 に参画する私たち	法や規範の意義及び役割にかかわる現実社会の事柄や課題を理解している。 現実社会の諸課題について、自立した主体として活動するために必要な技能を身に付けている。	政治分野の国会・内閣のしくみについて、幸福・正義・公正という視点から多面的・多角的に表現している。 具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら表現している。	政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
持続可能な社会づくりの主体となる私たち	これまでに学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。	課題解決に向けて、事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標として論拠を基に自分の考えを説明、論述できる。	地域の創造・より良い国家、社会構築及び平和で安定した国際社会の構築に主体的に取り組むという観点から、課題を見いだしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
内容のまとまりごとに学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	数 学	科 目	数 学 A	単位数	2
学 年	2	教 科 書	高 校 数 学A 新訂版 (実教出版)		
学 科	全学科	副 教 材	高校数学Aサブノート (実教出版)		

学習目標	① 場合の数と確率や図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、数学的に表現・処理する技能を身に付けます。
	② 論理的に考察する力や確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、数理的に考察する力を養います。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性の基礎を養います。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 場合の数と確率 ・集合と要素 ・場合の数	・いろいろな集合を理解し、要素の個数について学びます。 ・順列や組合せについて学びます。
2	1 場合の数と確率 ・確率 2 図形の性質 ・三角形の性質	・いろいろな事象の確率について学びます。 ・三角形の内角と外角の関係や外心・内心・重心について学びます。
3	2 図形の性質 ・円の性質 ・作図 ・空間図形	・円と四角形や円と接線、方べきの定理について学びます。 ・基本的な作図の方法を学びます。 ・空間図形の基礎を理解し、多面体の性質などを学びます。
課題	① 予習や復習を行い、教科書や問題集を活用し、理解の定着に努めます。 ② 夏休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、1学期までの内容の復習を行います。 ③ 冬休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、2学期までの内容の復習を行います。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
場合の数と確率	・順列の式を理解できる。 ・順列の考えにもとづいて、組合せが理解できる。 ・独立な思考の確率を、それぞれの事象の確率の積で表し、その確率を求めることができる。	・順列・組合せの総数を求めるときに、組合せの式を適切に用いることができる。 ・反復試行の確率を、組合せを用いて適切な式で表し、その確率を求めることができる。	・和の法則や積の法則、樹形図を利用して身の回りの具体的な事例の場合の数を考えようとしている。 ・身の回りにあるいろいろな事象の確率に関心を持ち、その確率を求めようとする。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物	・授業態度 ・振り返りシート

図形の性質	・ 三角形の外心・内心・重心およびその性質が理解できる。 ・ それぞれの作図の方法をとおして、その方法でなぜ作図ができるのかがわかる。	・ 三角形の外心・内心・重心の性質を用いて、いろいろな線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・ 方べきの定理を用いて、いろいろな線分の長さを求めることができる。	・ 三角形の外心・内心・重心に関心をもち、三角形との関係を理解しようとする。 ・ 円に内接する四角形の性質を理解しようとする。
評価方法	・ 小テスト ・ 定期考査	・ 定期考査 ・ 提出物	・ 授業態度 ・ 振り返りシート
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてABCの3段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	理科	科 目	生物基礎	単位数	2
学 年	2	教科書	高等学校 改訂 新生物基礎 (第一学習社)		
学 科	全学科	副教材	改訂 ネオバルノート 生物基礎 (第一学習社)		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象を学びます。 ② 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養います。 ③ 生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養います。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 生物の共通性	・生物の多様性と共通性や細胞の構造について学習します。
	2 生物とエネルギー	・生命活動にエネルギーが必要であることを学習します。
	3 遺伝情報とDNA	・遺伝子とDNAと染色体の関係について学習します。
2	4 遺伝情報とタンパク質の合成	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し、さまざまな働きをしていることを学習します。
	5 からだの調節と情報の伝達	・体液とその働きや体内環境を維持するしくみについて学習します。
	6 免疫	・免疫を担う細胞や器官の種類、免疫のしくみについて学習します。
3	7 植生と遷移	・植生と遷移や気候とバイオームについて学習します。
	8 生態系と保全	・生態系や物質循環や生態系のバランスと保全について学習します。
課題	① 予習・復習…教科書・副教材を用いて予習・復習します。 ② 夏休み課題…復習プリントを用いて基礎的な内容の定着を図ります。 ③ 冬休み課題…復習プリントを用いて基礎力、応用力を高めます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物の共通性	・真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解できる。	・共通の祖先が進化の過程を経て、生物が多様化したことを理解できる。	・椎動物の系統樹から、生物に共通の特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
生物とエネルギー	・代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解できる。	・代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる	・肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認しようとする。

評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
遺伝情報とDNA	・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解できる。 ・細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解できる。	・DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解できる。	・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
遺伝情報とタンパク質の合成	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解できる。 ・遺伝情報は、DNA、RNA、タンパク質へと一方向に流れることを理解できる。	・遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。	・資料を読み、3つの塩基の並び(コドン)が1つのアミノ酸に対応していることを理解しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
からだの調節と情報の伝達	・体温調節のしくみについて理解する。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	・食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の変化を示す資料から、インスリンの働きを考察できる。	・実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見いだそうとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
免疫	・自然免疫と獲得免疫のしくみを理解できる。 ・アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。	・資料から白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解できる。	・一次応答と二次応答の資料から、同じ感染職にかかりにくい理由を考察しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
植生と遷移	・日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解できる。	・遷移の結果として森林や草原、荒原などの多様なバイオームがあることを理解できる。	・資料から、多様なバイオームがあることを理解しようとする。

評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
生態系と保全	・生態系の構成について理解できる。 ・生物は、食物連鎖によってつながっていることを理解できる。	・土壌生態系を構成する生物の観察から、身近な環境でみられる生物の種の多様性について気付く。	・資料から、捕食―被食の関係が種の多様性に与える影響について考察しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	理科	科 目	地学基礎	単位数	2
学 年	2	教科書	高等学校 改訂 地学基礎 (第一学習社)		
学 科	環境開発科以外	副教材	改訂 ネオバルノート 地学基礎 (第一学習社)		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について学びます。 ② 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養います。 ③ 地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 地球のすがた	・地球の形や大きさや地球内部の構造、プレートの運動について学びます。
	2 地球の活動	・火山の分布や地形、火成岩の分類や地震が発生するしくみについて学びます。 ・地層の形成や堆積岩、変成岩について学びます。
2	3 生物の変遷と地球環境	・地層の対比や地質時代、生物の変遷について学びます。
	4 大気と海洋	・大気の構成や天気の変化、地球の熱収支について学びます。 ・大気や海洋の大循環について学びます。
3	5 宇宙と地球	・宇宙の構成や銀河系の構造について学びます。 ・太陽の組成や構造、進化について学びます。 ・太陽系の構造や惑星の特徴について学びます。
	6 地球の環境	・自然エネルギーの利用や日本の資源について学びます。
課題	① 予習・復習…教科書を用いて予習・復習します。 ② 夏休み課題…自由研究を実施し、結果を整理し、レポートにまとめます。 ③ 冬休み課題…科学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地球のすがた	・地球の層構造と各層の特徴を理解できる。 ・断層の種類や褶曲について、形成される条件などの特徴を理解できる。	・地形図を利用した実習を通して、地球の形について考察ができる。	・プレートの分布と運動について関心をもち、意欲的に学習しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
地球の活動	・地震波と大森公式について理解できる。 ・火山の形の特徴とマグマの性質との関係を理解できる。	・大森公式を利用して、初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。 ・観察から、鉱物の形の特徴を見出すことができ、火山岩や深成岩に分類できる。	・世界および日本の火山の分布に関心をもち、火山活動について意欲的に学習しようとする。 ・火山の形に関心をもち、意欲的に探究しようとする。

評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
生物の変遷と地球環境	・堆積岩の種類と性質を理解できる。 ・化石のでき方、相対年代と数値年代の違いについて理解できる。	・観察を通して、堆積物から堆積岩の種類を判別することができる。	・地層の重なりや堆積構造から、過去の変動の様子や堆積環境を調べる方法を習得しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
大気と海洋	・大気のエネギー収支、温室効果、放射冷却について理解できる。 ・海流、深層水の大循環モデルを理解できる。	・エネルギー収支を示すグラフから地球の南北の熱の輸送について考察することができる。 ・エルニーニョ現象が発生したときの日本の気候に与える影響について考察できる。	・エルニーニョ現象について関心をもち、海水と大気の相互作用と人間生活の関わりについて意欲的に学習しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
宇宙と地球	・宇宙の始まり、銀河系の構造について理解できる。 ・太陽系の構造と誕生過程、地球型惑星と木星型惑星の違いについて理解できる。	・黒点の観察を通して、太陽の活動について理解を深めることができる。 ・太陽系の形成時の位置や質量の違いによって、地球型惑星と木星型惑星の内部構造の違いを考察できる。	・ビックバン、元素の誕生や宇宙の晴れ上がりに関心をもち、宇宙の始まりについて意欲的に探究しようとしている。 ・太陽系の惑星の環境を変化させる要因について意欲的に学習しようとしている。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
地球の環境	・気候変動や地球温暖化の原因、地域による影響の違いを理解できる。 ・日本付近の気団や四季の天気の違いや移り変わりを理解できる。	・グラフや資料から地球温暖化の原因や、影響を考察することができる。 ・火山噴火の際に発生する災害について、ハザードマップから判読することができる。	・自然の恩恵について関心をもち、資源としての利用方法を意欲的に学習しようとしている。 ・災害の種類やその防災について意欲的に学習しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	理科	科 目	物理基礎	単位数	2
学 年	2	教科書	高等学校 改訂 新物理基礎（第一学習社）		
学 科	環境開発科	副教材	改訂 ネオバルノート 物理基礎（第一学習社）		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて学びます。 ② 観察・実験などを行い、物理的に探究する力を育てます。 ③ 物体の運動と様々なエネルギーに主体的にかかわり、科学的に探究する態度を養います。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 物体の運動 2 力と運動の法則 3 仕事と力学的エネルギー	- 日常生活の中の運動について考えます。 - 物体にさまざまな力が働くことや運動の法則を知り、理解します。 - 仕事と運動エネルギーの関係と力学的エネルギーの保存について理解し、考えます。
2	4 熱とエネルギー 5 波の性質 6 音波	- 熱と熱量、エネルギーについて考察します。 - 波と媒質の運動について考察し、原理を理解します。 - 音の種類と性質を知り、共振、共鳴を学びます。
3	7 電荷と電流 8 電流と磁場 9 エネルギーとその利用	- 電気の性質、電流と電気抵抗エネルギーを学びます。 - 電流がつくる磁場について理解し、電磁波の発生、電磁波の分類について学びます。 - 太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し、エネルギーの流れや問題点などを理解する。
課題	① 予習・復習…教科書・副教材を用いて予習・復習します。 ② 夏休み課題…復習プリントを用いて基礎的な内容の定着を図ります。 ③ 冬休み課題…復習プリントを用いて基礎力、応用力を高めます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物体の運動	・等加速度直線運動の式を用いて、それぞれの物理量を計算することができる。	・等加速度直線運動の特徴を踏まえ、グラフから変位、速度、加速度を読み取ることができる。	・速度が変化する日常での事象について意欲的に考えようとしている。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
力と運動の法則	・力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解できる。	・運動方程式を用いて、物体がどのような運動をするかを考察できる。	・日常での経験と照らし合わせて力のはたらき方を観察し、物理的に理解しようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容

仕事と力学的エネルギー	- 仕事、仕事率を計算することができる。 - 力学的エネルギーが保存されることを式で導くことができる。	- 動滑車や斜面などを用いた場合の仕事について考えることができる。 - 運動エネルギーと仕事の関係について説明することができる。	運動エネルギーと位置エネルギーの両者からエネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。
評価方法	- 実験操作 - 問題集 - 定期考査	- プリントの記述内容 - 小テスト - 定期考査	- 発言内容 - 実験への取組 - プリントの記述内容
熱とエネルギー	- 熱運動と温度との関係を理解できる。 - 物質の各状態における熱運動のようすを理解し、潜熱を計算することができる。	- 比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 - 日常の現象に関して、熱と仕事の関係を説明することができる。	熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。
評価方法	- 実験操作 - 問題集 - 定期考査	- プリントの記述内容 - 小テスト - 定期考査	- 発言内容 - 実験への取組 - プリントの記述内容
波の性質	- 単振動の特徴を学習し、振動数と周期の関係を理解できる。 - 波の速さ、波長、周期の間に成り立つ関係を式で表すことができる。	- 縦波における疎、密の点、変位や速度の最大、最小の点を示すことができる。 - 定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。	- 身のまわりには、さまざまな種類の波があることを理解しようとする。 - 一定時間の経過によって進んだ波の作図を、自らの力で描こうと努力している。
評価方法	- 実験操作 - 問題集 - 定期考査	- プリントの記述内容 - 小テスト - 定期考査	- 発言内容 - 実験への取組 - プリントの記述内容
音波	- 共振・共鳴がおこるしくみを理解できる。 - 気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算することができる。	- 弦の振動における波長や振動数の関係を式で導くことができる。 - 閉管と開管の違いを理解し、固有振動で生じる波長と振動数の関係を式で導くことができる。	身のまわりの事象や現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解しようとする。
評価方法	- 実験操作 - 問題集 - 定期考査	- プリントの記述内容 - 小テスト - 定期考査	- 発言内容 - 実験への取組 - プリントの記述内容
電荷と電流	- オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗のそれぞれの量を求めることができる。 - ジュール熱、電力量や電力を計算することができる。	- 電気回路の実験において、電流計と電圧計を接続することができる。 - 消費電力と使用時間から、電力量を考えることができる。	中学校で学んだ内容を振り返りながら、オームの法則について意欲的に学習しようとする。

評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
電流と磁場	・電流が磁場から受ける力の特徴，電磁誘導の特徴を理解できる。 ・電磁波にはさまざまな種類があることを知り，利用例を理解する。	・電流が磁場から受ける力をもとに，モーターの原理を理解できる。 ・電磁誘導の特徴を踏まえ，発電機のしくみを理解する。	・家庭での電気の使用と関連させて，交流の特徴や送電について考えようとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
エネルギーとその利用	・太陽エネルギーや化石燃料を用いた発電方法について理解できる。	・電気エネルギーへの変換を中心として，利用しているエネルギー資源について調べることができる。	・日常生活と深く関わる電気エネルギーが，どのようにつくられているのかに関心を示そうとする。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
内容のまとめりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	保健体育	科 目	体育	単位数	2
学 年	2	教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		
学 科	全学科	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）		

学習目標	① 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにする。 ② 課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ③ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てる。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動を通して、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わいます。
	2 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	3 体育理論	・スポーツにおける技能や技術、戦術について理解します。
2	4 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	5 体育理論	・技能の上達過程と練習及び効果的な動きのメカニズムについて理解します。
3	6 陸上競技	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己の能力に応じた課題解決を目指します。（長距離走）
	7 球技	・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、勝敗を競うことの楽しさや喜びを味わいます。（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	8 体育理論	・体力トレーニングやスポーツにおける安全確保について理解します。
課題	① 見学者は見学カードに必要事項を記入して、レポートを作成して提出します。 ② 長期休業中は、授業で学習した内容を生かして体力の維持・向上に努めます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。	生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。	体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	学習カード 観察	学習カード 観察	学習カード 観察
球技	ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。（共通）	選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。練習やゲームを行う場面で、チームや自己の危険を回避するための活動	球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 フェアなプレイを大切にしようとしている。 仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。

	シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動できる。 (ゴール型) サービスでは、ボールに変化をつけて打つことができ、ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 (ネット型) ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールを捉えることができ、打球のバウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ることができる。 (ベースボール型)	の仕方を提案している。	危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。
評価方法	学習カード 観察	学習カード 観察	学習カード 観察
陸上競技 (長距離走)	記録会で競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、言ったり書き出したりしている。 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。	自己や仲間の動きを分析してよい点や修正点を指摘している。 課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。	陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。
評価方法	学習カード 観察 記録会	学習カード 観察	学習カード 観察
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、言ったり書き出したりしている。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	確認テスト 観察	確認テスト 観察	観察
内容のまとめりとともに、学習目標の到達度を基に各観点においてABCの3段階で評価を行います、学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	保健体育	科 目	保健	単位数	1
学 年	2	教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		
学 科	全学科	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）		

学習目標	① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 ② 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ③ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 生涯を通じる健康	・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりについて理解します。 ・労働災害を防止するための適切な健康管理や安全管理について理解します。
2	2 健康を支える環境づくり	・環境と健康について、人間の生活や産業活動が、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを理解します。 ・食品と健康について、食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解します。
3		・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、生涯を通じて健康を保持増進するための適切な活用方法を理解します。 ・様々な保健活動や社会的対策について、我が国や世界における保健活動や社会的対策について理解をします。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他の健康を保持増進するためのヘルスプロモーションの考え方について理解を深めます。
課題	現代保健ノートの問題を予習・復習に活用する。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯を通じる健康	思春期・結婚生活と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 加齢と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 労働災害と健康及び働く人の健康の保持増進について、理解したことを言ったり書いたりしている。	生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明している。	生涯を通じる健康について、課題解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考査 観察	定期考査及び実習 ノートの記述内容 観察	ノートの記述内容 観察
健康を支える 環境づくり	環境と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 食品と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、理解したことを言ったり書いたりしている。 様々な保健活動や社会的対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康に関する環境づくりと社会参加について、理解したことを言ったり書いたりしている。	健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、道筋を立てて説明している。	健康を支える環境づくりについて、課題解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	定期考査 観察	定期考査及び実習 ノートの記述内容 観察	ノートの記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います、学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	英語	科 目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
学 年	2	教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）		
学 科	全学科	副教材	VALUE 1000 Listening Pilot Level 2（第一学習社）		

学習目標	1. 必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりして話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 3. 情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	Pre-Lesson Lesson 1	・今年やってみたいことについて考え、to 不定詞や助動詞を用いて相手に伝える技能を身に付けます。 ・イタリアの島の特色について学習し、関係代名詞 what を用いて調べた事柄を伝え合う技術を学びます。
2	Lesson 2 Lesson 3	・世代を超えて人気のあるバンドについて学習し、人気のある人物について比較表現を用いて述べる技能を身に付けます。 ・ヨーロッパの国々の祭りについて知り、人間社会と自然について考え、it を用いた文を用いて調べたことを紹介します。
3	Lesson 4 Lesson 5	・ハチドリ物語を通して不断の努力と不屈の心について考え、間接疑問文を用いて好きな物語について話し合います。 ・日本の伝統文化である歌舞伎について学習し、to 不定詞を含む表現を用いて、伝統文化について英語で説明します。
課題	① 必要な情報から相手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じてとらえる力を養う。 ② 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付ける。 ③ 情報や考え、気持ちなどを論理性に注意し、話したり書いたりして伝える力を養う。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Pre-Lesson My Plans for This Year	・ to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を理解している。 ・ 今年やってみたいことなどを, to 不定詞や助動詞 will などを用いて、相手に伝える技能を身に付けている。	・ 新学期にあたり、今年の計画について考え、クラスメートと対話したり、インタビューしたりする。	・ 今年やってみたいことなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。
評価方法	・ 小テスト ・ プリント ・ 定期考査	・ 言語活動への取り組み状況 ・ 定期考査	・ 課題の提出状況 ・ 発表内容 ・ 授業中の取り組み状況
Lesson 1 A Colorful Island	・ 関係代名詞 what を用いた文の形・意味を理解している。	・ SNS にアップされた海外旅行の報告や、海外で行ってみたい場所に	・ 海外の観光地について学んだり、海外の観光地に関して書かれた文

	関係代名詞 what の理解をもとに、SNS にアップされた海外旅行の報告や、子供のころなりたかったものについての対話の内容を聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。	についてのスピーチや対話の概要を捉えている。海外でしてみたいことについて情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合っている。	章について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことなどを伝え合おうとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
Lesson 2 With the Beatles	- 比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて書かれた対話の内容を読み取る技能を身に付けている。 - 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学び、好きな人物について自分で調べた事柄を整理・理解している。	- 世代を超えて人気のある音楽バンドについて書かれた対話の概要を捉えている。 - 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合っている。	- 好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを伝え合おうとしている。 - 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、話したり書いたりして伝え合おうとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
Lesson 3 Wild Men	- it を用いた文の形・意味を理解している。 - ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチや、ある行動に対する意見や感想を述べる対話の内容を聞き取る技能を身に付けている。 - 身近な行事について自分で調べた事柄を整理・理解し、話す技能を身に付けている。	ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学び、身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、身近な行事や祭りについて整理して話している。	ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
Lesson 4 Little Hero	ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学び、好きな物語	物語の結末を想像して、好きな物語について自分で調べた事柄を用い	ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学び、好きな物語

	について自分で調べた事柄を整理・理解し、話す技能を身につけている。 自分で調べた事柄を用いて、好きな物語を紹介する文を書く技能を身に付けている。	て、考えや理由などを伝え合っている。 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。	について自分で調べた事柄を用いて、好きな物語を紹介する文を書こうとしている。 好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
Lesson 5 Special Makeup In Kabuki	- to 不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。 - to 不定詞を含む表現の理解をもとに、歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の内容を読み取る技能を身につけている。 - 歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について自分で調べたりしながら、学んだ事柄を整理・理解するとともに、日本の伝統文化について話す技能を身に付けている。	- 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の概要を捉えている。 - 音声ガイドの文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本の伝統文化について、相手の意見をまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	- 日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて、日本の伝統文化について整理して話そうとしている。 - 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本の伝統文化について、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてABCの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	家庭	科 目	家庭基礎	単位数	2
学 年	2	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）		
学 科	生物工学科・環境開発科 食品化学科	副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） 調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科研究会）		

学習目標	① 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。 ② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活向上を図ろうとする実践的な程度を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	家庭科の学び①	・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解します。 ・食生活課題や栄養と食品、食品の選択と安全、食生活の計画・管理、調理の基礎について学びます。 ・調理実習に取り組みます。 ・生涯の生活設計や青年期の自立について学びます。 ・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律について学び、家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解を深めます。 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解します。
	1 食生活をつくる	
	2 生涯を見通す	
	3 人生をつくる	
2	家庭科の学び②	・乳幼児期の心身の発達と生活や親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について学びます。 ・超高齢社会の現状、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について学びます。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について学びます。 ・被服の機能や被服材料、被服管理、衣生活の文化について学び、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けます。 ・住生活の変遷と機能、安全で快適な住生活、住文化について学び、生涯を見通した住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けます。
	4 子どもと共に育つ	
	5 超高齢社会を共に生きる	
	6 共に生き、共に支える	
	7 衣生活をつくる	
3	8 住生活をつくる	・経済計画や消費行動、意思決定、環境について学び、持続可能な社会を目指したライフスタイルと生涯を見通した生活設計について考えます。 ・各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。
	9 経済生活を営む	
	10 持続可能な生活を営む	
課題	11 これからの生活を創造する	① 通常授業時の課題： プリント・ノート、小テスト ② 夏季休業中の課題： ホームプロジェクト（家庭生活に関する問題解決学習） ③ 冬季休業中の課題： 生活に関するレポート、プリント

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
---------------	-------	----------	---------------

家庭科の学び	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	・生活上の課題について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を通して、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・ノート記述内容 ・定期考査	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動への取組状況	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動への取組状況
1 食生活をつくる	・食生活課題や栄養と食品、食品の選択と安全、食生活の計画・管理、調理の基礎について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。	・食生活の計画・管理や健康・環境に配慮した食生活について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・食生活を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期テスト ・実習への取組状況	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容 ・実習への取組状況
2 生涯を見通す	・各ライフステージの特徴と課題、青年期の自立、意思決定の重要性について理解している。	・生涯を見通した自己の生活について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・生涯の生活設計について、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
3 人生をつくる	・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭に関わる法律、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。	・社会における家族・家庭の在り方について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・家族・家庭を取り巻く社会的課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
4 子どもと共に育つ	・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。	・子育ての意義や親や家族及び社会の果たす役割の重要性について考えを深められている。	・子どもを取り巻く社会的課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
5 超高齢社会を共に生きる	・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。	・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考えを深められている。	・高齢者を取り巻く社会的課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容

6 共に生き、共に支える	・家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	・福祉や社会的支援について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・福祉や社会的支援を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
7 衣生活をつくる	・被服の機能、被服材料、被服管理、衣生活文化について、理解している。 ・基礎的な製作技術を身に付けている。	・目的や個性に応じた、健康で快適・機能的な着装や製作について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・衣生活を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査 ・実習への取組状況	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容 ・実習への取組状況
8 住生活をつくる	・住生活の変遷と機能、安全で快適な住生活、住文化、住生活を取り巻く課題について、理解している。	・住生活と取り巻く課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・住生活を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
9 経済生活を営む	・消費生活の現状と課題、契約、消費者の自立と支援、家計の構造、家計管理について理解している。	・責任ある消費、家計管理について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・経済生活の課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
10 持続可能な生活を営む	・生活と環境の関わり、持続可能な消費について理解している。	・現代の消費やライフスタイルについて課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・持続可能な生活の実現に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
11 これからの生活を創造する	・自立した生活を営むために必要な情報の収集整理を行い、ライフイベントやその課題について理解している。	・ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する力を身に付けている。	・ライフプランをたてる際の課題に関心を持ち、その解決について考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・発言内容 ・ノート・プリント記述内容 ・実習への取組状況

内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。

教 科	家庭	科 目	家庭総合	単位数	2
学 年	2	教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）		
学 科	園芸流通課・特用林産科	副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）		

学習目標	① 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。 ② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭・地域の生活向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	家庭科の学び①	・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解します。 ・生涯発達の視点に立って、生涯の生活設計や青年期の自立について学び、青年期の生き方を考えます。 ・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律について学び、家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解を深めます。 ・経済計画や消費行動、意思決定、環境について学び、環境に配慮して持続可能な社会を目指したライフスタイルと生涯を見通した生活設計について考えます。 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解します。
	1 生涯を見通す	
	2 人生をつくる	
	3 経済生活を営む	
	4 持続可能な生活を営む	
	家庭科の学び②	
2	5 衣生活をつくる	・被服の機能や被服材料、被服管理、被服製作の基礎について学び、衣生活の自立に必要な技能を身に付けます。 ・被服製作実習（エプロン・巾着袋）に取り組みます。 ・超高齢社会の現状、高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について学び、高齢者の生活支援に関する技能を身に付けます。
	6 超高齢社会を共に生きる	
3	7 共に生き、共に支える	・家族、家庭の生活を支える福祉や社会的支援について学び、共生の意義について理解を深めます。 ・住生活の変遷と機能、安全で快適な住生活、住文化について学び、生涯を見通した住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けます。
	8 住生活をつくる	
課題	① 通常授業時の課題： プリント・ノート、小テスト ② 夏季休業中の課題： ホームプロジェクト（家庭生活に関する問題解決学習） ③ 冬季休業中の課題： 生活に関するレポート、プリント	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭科の学び	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	・生活上の課題について課題見出し、解決する力を身に付けている。	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を通して、生活を工夫・想像し、実践しようとしている。
評価方法	・ノート記述内容 ・定期考査	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動への取組状況	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動への取組状況
1 生涯を見通す	・各ライフステージの特徴と課題、青年期の自立、意思決定の重要性について理解している。	・生涯を見通した自己の生活について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・生涯の生活設計について、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
2 人生をつくる	・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭に関わる法律、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。	・社会における家族・家庭の在り方について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・家族・家庭を取り巻く社会的課題に関心を持ち、その解決について考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
3 経済生活を営む	・消費生活の現状と課題、契約、消費者の自立と支援、家計の構造、家計管理について理解している。	・責任ある消費、家計管理について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・経済生活の課題解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
4 持続可能な生活を営む	・生活と環境の関わり、持続可能な消費について理解している。	・現代の消費やライフスタイルについて課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・持続可能な生活の実現に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
評価方法	・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
5 衣生活をつくる	・被服の機能、被服材料、被服管理、被服製作、衣生活文化について、理解している。 ・基礎的な製作技術を身に付けている。	・目的や個性に応じた、健康で快適・機能的な着装や製作について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・衣生活を取り巻く課題の解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。 ・主体的に製作実習に取り組もうとしている。

評価方法	・小テスト ・定期考査 ・実習への取組状況	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
6 超高齢社会を共に生きる	・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	・福祉や社会的支援について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・福祉や社会的支援を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
	・小テスト ・定期考査 ・実習への取組状況	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容 ・実習への取組状況
7 共に生き、共に支える	・家族、家庭の生活を支える福祉や社旗的支援について理解している。	・福祉や社会的支援について課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・福祉や社会的支援を取り巻く課題に関心を持ち、その解決に向けて生活を工夫創造し、実践しようとしている。
	・小テスト ・定期考査 ・実習への取組状況	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容
8 住生活をつくる	・住生活の変遷と機能、安全で快適な住生活、住文化、住生活を取り巻く課題について、理解している。 ・住空間の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・住生活と取り巻く課題を見出し、解決する力を身に付けている。	・住生活を取り巻く課題に関心を持ち、その解決について考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・ノート・プリント記述内容 ・定期考査	・授業への取組状況 ・ノート・プリント記述内容 ・実習への取組状況
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてABCの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各楽器の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	国語	科 目	論理国語	単位数	2
学 年	2	教科書	新編論理国語（東京書籍）		
学 科	全学科	副教材	新編論理国語 学習課題ノート（東京書籍）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 対話とは何か 2 「ふしぎ」ということ	・筆者の考えを読み取り、要旨を把握することを学びます。 ・「論理的」とはどういうことか、文章の論理的構造を捉えるために必要なことは何かを学びます。
2	1 学ぶことと人間の知恵 2 安心について	・文章の種類を踏まえて内容や構成、論点を理解します。 ・具体例を通して多面的・多角的な視点の考え方について学びます。
3	1 弱肉強食は自然の摂理か 2 楽に働くこと、楽しく働くこと	・筆者の問題提起とそれに対する主張が書かれている部分を把握し、文章の構成について理解します。 ・仕事についての作者の考えを理解し、働くことについて話し合い、自分の生き方を考えます。
課題	① 予習・復習…教科書を用いて予習・復習をします。 ② 夏休み課題…課題帳を用いて基礎学力を養成します。 ③ 冬休み課題…課題帳を用いて基礎学力を養成します。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対話とは何か	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	・文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、要旨を把握している。	・筆者の考えを捉え、人間の有限性、創造性について考えようとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・定期考査	・ノートの記述内容 ・定期考査	・発言内容
「ふしぎ」ということ	・言葉には言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。	・筆者の考えについて、その根拠や意味を理解している。
評価方法	・ノートの記述内容 ・定期考査	・ノートの記述内容 ・定期考査	・発言内容

学ぶことと人間の知恵	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	文章の内容や解釈を理解し、新たな観点から自分の考えを深めている。	筆者の考えを読み取り、筆者の考える「学び」を理解しようとしている。
評価方法	- ノートの記述内容 - 定期考査	- ノートの記述内容 - 定期考査	発言内容
安心について	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	文章の内容や解釈を理解し、新たな観点から自分の考えを深めている。	筆者の考えを読み取り、筆者の考えを理解しようとしている。
評価方法	- ノートの記述内容 - 定期考査	- ノートの記述内容 - 定期考査	発言内容
弱肉強食は自然の摂理か	文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、 ・多角的な視点から評価している。	文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しようとしている。
評価方法	- ノートの記述内容 - 定期考査	- ノートの記述内容 - 定期考査	発言内容
楽に働くこと、楽しく働くこと	文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、 ・多角的な視点から評価している。	文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解しようとしている。
評価方法	- ノートの記述内容 - 定期考査	- ノートの記述内容 - 定期考査	発言内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、５段階で評価します。			

教 科	商 業	科 目	簿 記	単位数	2
学 年	2	教科書	新簿記 新訂版（実教出版）		
学 科	生工・食化・生活	副教材	反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級 新訂版（実教出版）		

学習目標	① 企業における取引を、合理的・能率的に記帳する知識と技術を身に付ける。 ② 簿記の基本的な仕組みについて理解を深める。 ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 簿記の基礎 2 取引の記帳（その1） 3 決算	・簿記の意味と目的について理解する。 ・仕訳と帳簿への転記について理解する。 ・仕訳から決算にいたるまでの簿記の流れを理解する。
2	4 決算（その1） 5 帳簿決算と財務諸表 6 総合記帳演習	・決算整理の意味とその必要性について理解する。 ・決算手続きの全体の流れを理解する。 ・総合記帳演習2とおとして簿記の総合力を身に付ける。
3	7 総合記帳演習	・総合記帳演習2とおとして簿記の総合力を身に付ける。
課題	・夏休みの課題 ・冬休みの課題 ・検定模擬問題	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
簿記の基礎	・基本的な簿記に関する用語を理解している	・取引を分解して、仕訳することができる。	・主体的に授業に取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢
取引の記帳 （その1）	・各種の帳簿の役割を理解している。	・仕訳から転記を正確に行うことができる。	・主体的に授業に取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢
決算	・決算の流れを理解している。	・正しく記帳し、帳簿を締め切ることができる。	・主体的に授業に取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢

決算（その１）	・決算の役割と意味を理解している	・決算の手続きを理解している。	・主体的に授業に取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢
帳簿決算と財務諸表	・損益計算書と貸借対照表を作成することができる。	・損益計算書と貸借対照表の意味を理解している。	・主体的に授業に取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢
総合記帳演習	・全商簿記３級の内容を理解している。	・総合記帳演習をとして、全商簿記３級の学習内を理解する。	・主体的に目標に向かって取り組んでいるか。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・小テスト ・定期考査	・授業に対する姿勢
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、５段階で評価します。			